

微破壊試験を活用したコンクリート構造物の健全性診断手法調査研究委員会
補修・補強の現状調査と課題整理部会（WG3）
第6回 WG 議事録（案）

議事録担当：松林

日 時：2011年11月17日（木）13:00～15:00

場 所：JCI会議室

出席者：堤幹事長，岩波主査，横沢委員，松林

以上4名（敬称略）

資 料：WG3 6-0 議事次第
WG3 6-1 前回 WG 議事録案
WG3 6-2 WG 資料（補修・補強の現状調査と課題整理部会（WG3））
WG3 6-3 WG3 報告書目次（20111117 案）
WG3 6-4 メール文（今後のスケジュールに関して）
WG3 6-5-1 委員会成果本の目次案
WG3 6-5-2 事例分析（東京湾内の揚油パーパス連絡栈橋）
WG3 6-5-3 補修・補強事例の収集・整理（電力設備）
WG3 6-5-4 論文「劣化リスクの定量的な評価に基づく・・・」（電力土木）
WG3 6-5-5 論文「ドリル削孔消費電力による・・・」（電力土木）
WG3 6-6-1 2.4.3 補修・補強事例分析（横沢委員・松林）
WG3 6-6-2 補修・補強事例の収集・整理 一覧表（横沢委員・松林）
WG3 6-6-3 補修・補強事例の収集・整理（書式を統一したもの）
WG3 6-7 事例から何を導くか（横沢委員）

議 事：

1．WG3におけるこれまでの活動内容の確認

資料 WG3 6-1～6-3 により，WG3 におけるこれまでの活動内容および報告書目次案を確認した。

2．委員会全体の報告書と WG3 報告書の対応の確認

- ・資料 WG3 6-5-1 より，委員会全体の報告書の目次案と記述内容について確認した。WG3 の内容は，全体報告書の中の「【 】コンクリート構造物の維持管理に関する現状と課題」の中に反映される見込み。
- ・WG3 では，当面のところ資料 WG3 6-3 の WG3 目次案に従って内容をまとめ，最終的に全体報告書の章立てにあわせて執筆内容の並び替えおよび補足を行う。

3．事例分析および事例の追加（堤幹事長）

堤幹事長より、資料 WG3 6-5-4 に関する事例分析および新たに 1 件の事例（資料 WG3 6-5-5）について紹介があった。

4．各自の収集事例とその全体的な傾向に関して

- ・各自の収集事例の書式を横沢委員の書式に統一した（資料 WG3 6-6-3）。書式が若干統一されていなかったため、内容に不備がある可能性がある。

各文献担当者に入力内容の確認を依頼する（松林から連絡する）。

- ・事例をまとめた表の内容だけでは判断しにくい内容がある（例えば、コア抜きをした記述はないが、調査内容からは実施したと思われるなど）。

成果本にまとめる際は、文献から判断できない部分については推測による判断が入っていることを記述した上でデータを示せばよい。

- ・資料 WG3 6-6-1 に関して、補修・補強の対象部位（図-1）、履歴（図-5）および範囲（図-8）については有効なデータにならないと思われるので削除する。また、検査・試験の種類（図-6）については全体数に対する実施件数の割合で示す。

資料 WG3 6-6-2 の一覧表のうち、不要な欄を削除し、入力における判断基準を明確にした上で、各文献担当者に一覧表の入力内容の確認を依頼する（松林から連絡する）。

- ・資料 WG3 6-6-1 に関して、(9) LCC 試算例については個別の詳細分析で述べるため削除する。

5．事例分析から導く内容の提示および事例の追加（横沢委員）

横沢委員より、補修・補強事例の分析を通じて導く内容について案が示された。

社会的な背景から、耐用年数を超えて利用し続ける必要あり。

加速期で補修している限り、健全性を維持し続けることは困難。

加速期と評価されながら微/非破壊検査を行った目的を整理し、課題を抽出する必要あり。

また、新たに 1 件の事例について紹介があった（資料 WG3 6-7）。

6．今後のスケジュールの確認

資料 WG3 6-4 より、今後のスケジュールを確認した。

11 月下旬～12 月上旬 松林からの連絡を受け、担当した事例シートの内容および一覧表をチェックし、松林に返す（各自）

11 月下旬～委員会前 成果本の原稿執筆（各自）

12 月上旬～委員会前 チェックを踏まえて全体的な傾向の見直し（松林）

以 上